

JAAF  
CHIBA

## 千葉陸協だより



発行：一般財団法人千葉陸上競技協会総務委員会広報部 2014年12月11日発行

第5号

## 2014年度前半戦を振り返って

専務理事 高木 義雄

日頃より、本協会の活動に多大なるご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。今年は秋の訪れがいつになく早く、選手の皆さんとしては残暑に悩まされることなく秋冬シーズンに向けて熱心に練習に励まれていることと存じます。

本県の特徴として、気候が温暖で自然災害も少ない住みやすい土地柄であることがあげられますが、一方、全国では今年、大雨による洪水や土石流の被害、火山の噴火による被害など多くの自然災害が起きました。被災者への思いとともに「備えあれば憂いなし」「天災は忘れたころにやってくる」というような昔の言い伝えをよくかみしめ、過ごしていかなければならないと強く感じています。

さて競技ですが、本陸協主催の記録会、選手権は順調に運営され、好記録も生まれています。また、全国中学校選手権では女子走り高跳びにおいて佐倉南部中学校の梅原遥奈さん、女子走り幅跳びにおい

て旭二中の杉村奏笑さんがそれぞれ優勝し、将来の活躍が期待されます。また、全国高校選手権では市立船橋高校の前田恋弥君が、800 m と 1500 m の 2 種目を制覇し、男子 4 × 400 m において成田高校が優勝するなど、多くの上位入賞者が生まれています。また、海外の大会においても男子走り高跳びにおいて本県出身の戸邊直人さんが 2 m 31 c m の県新記録を樹立するなど活躍しています。

さて、これからはロードレース・駅伝シーズンです。

近年、復活の兆しが見えてきた駅伝チームを全県を挙げて支えていけたらと願っています。

引き続き、皆様の絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。



## 部活動紹介

## 第1回 「千葉県立安房高等学校」

本号より新たなシリーズとして高等学校・中学校陸上部の紹介をしております。

安房高校陸上競技部は、現在 35 名の部員それぞれが自分の目標達成のために日々努力しています。野球部と共有する学校の 400mトラックや近隣の海岸、砂山などが主な練習場所で、トップアスリートとの合同練習も数多く実施しています。先日の県新人戦では 4 人が入賞し、1 名が関東大会に出場しました。OB・OG の方々や地域の人からのサポートもあり、充実した環境で陸上競技に取り組んでいます。和歌山インターハイ出場を目指し、部員一丸となって「尽力」していきます。



※部活動紹介コーナーに登場してくれる部活動を募集しています。我こそはと思う部活動の方は千葉陸協までご連絡ください。

# 委員会報告

## 総務委員会

総務委員長  
市東 和代

陸連登録や各競技会の申込みでは、たいへんお手数をおかけしております。来年度に向け、システムの一部変更を検討しております。たびたびの変更で皆様方には大変なご迷惑とご苦勞をおかけし、誠に申し訳なく思っております。今後、競技運営のシステム化に迅速に対応することにより、組織運営及び競技会運営がスムーズに行われることを期待しております。

皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## 競技運営委員会

競技運営委員長  
立澤 勇

一昨年度に続き、今年度も10月19日にちばアクアラインマラソンを無事終了することができました。好天の中沿道、フィニッシュと観衆が多く盛況に行われました。皆さまのご協力誠にありがとうございました。

さて、平成27年2月22日(日)には新B級公認審判員取得講習会が開催されます。今年度の千葉県公認審判員数は、男子1076名、女子163名、合

計1239名(10月21日現在)です。多くの審判員の皆さまに登録いただいておりますが、審判員の高齢化も進んでいます。平成27年度以降も多くの競技会が控えております。今後さらに多くの若い皆さんに資格を取り競技会に参加していただきたいと考えておりますので、審判の資格をお持ちでない関係者にお声をかけていただければと思います。皆さまのご協力よろしくお願いいたします。

## 施設用器具委員会

施設用器具委員長  
森井 優

今回、新しい競技場の話題をお知らせいたします。八千代市総合グラウンドが平成26年9月7日にオープンしました。全天候ウレタン舗装のトラック(1周400m、8レーン)では陸上競技、人工芝のインフィールドではサッカー、ラグビー、ターゲットボードゴルフなどができます。日本陸上競技連盟公認第4種陸上競技場としてスポーツの拠点となる施設です。団体利用だけでなく、10月3日からは、個人利用も可能になりました。



※詳しくは八千代市のホームページを御参照ください。

## アクアラインマラソン2年ぶり復活開催

2012年に初めて開催されたちばアクアラインマラソンが2年ぶりに開催されました。前回、アクアラインを走り終えたランナーが大量に途中棄権したこともあり、ハーフの部を新たに設けました。その効果があり今回、海上のランニングを満喫した笑顔の完走者が多く見られ充実した大会となりました。ハーフの部はアウトレットをゴールとしていることもあり人気が高くショッピングを楽しむ方も多く見られました。

地元千葉県出身選手も多く出場し、女子フルマラソンの部では、聖徳大学の菅生晶子選手(柏南高卒)が2時間49分41秒のタイムで優勝するなど、存在感を示してくれました。

この人に  
聞く

## 千葉のアスリート紹介

千葉県 PR マスコットキャラクター チーバくん  
千葉県許諾第 A287-7号

## 第5回 林 英昭さん

はじめまして、専修大学松戸高等学校教員の林英昭です。私は来年、還暦を迎えますが、現在もハンマー投げの競技に取り組んでいます。来年も45年連続の千葉県選手権出場を予定しています。私がここまで競技に取り組んできた歴史を、この場を借りて紹介させていただきたいと思います。

陸上競技との出会いを振り返ると、中学校で恩師の島崎喜久先生に「肥満体型のお前でもできる」と半ば強引に入部させられたのを思い出します。その後、練習を積むたびに記録が伸びることに楽しさを覚え、さらに幸運にも県大会で3位に入賞することができ、それ以来、陸上競技に魅せられています。

高校進学の際、私は成東高校と長生高校で迷いましたが、「投擲の凄い先生がいる」、という兄の助言により、成東高校に進学しました。その先生こそ、前順天堂大学陸上競技部監督の金子今朝秋先生でした。先生の御指導の下、ハンマー投に取り組み、3年時には山形インターハイ3位の成績を取ることができました。余談ですが、当時の長生高校の陸上部顧問は小出義雄先生でしたので、もし、長生高校に進学していたなら、私も長距離選手となっていたことでしょう。大成していたかは定かではありませんが、現勤務校で駅伝指導を専門として30年以上になりますので、小出門下生でも良かったかなとってしまうこともあります（笑）

さて、私の競技人生を語る上で、同学年の居福信行選手の存在は欠かせません。彼に勝ったのは3年のインターハイが最後です。その年、国体優勝を目標としていた私は、国体最終選考会にピークを合わせていました。しかし、直前の怪我により1m差で彼に負けてしまいました。当時、インターハイ上位者を国体選手に選考するという取り決めがなく、居福選手が代表となり、見事、国体優勝を果たしました。私には、嬉しさと共に、複雑な気持ちがあったのを思い出します。

さて、私は居福選手に勝って日



本一になるという目標を掲げ、順天堂大学に進学しました。順調に記録を伸ばし、いざ勝負と思っていた矢先、練習中に胸椎骨折と全ての腰椎の椎間板が潰れるという大怪我をしてしまいました。失意の中、高校教員から順天堂大学のコーチとなっていた恩師の金子先生に、弱音を吐いたことがあります。しかし、先生からは強烈な叱咤激励を受け、再びハンマーに向かう決意を固め、大学4年であつての目標にあと4mと迫る56mを投げるに至りました。

大学卒業後は、鶴澤先生のお誘いを受け、専修大学松戸高校に勤務することになり、町山先生率いる松戸市陸上競技協会に所属し、競技を続けることができました。日本インカレ連覇を果たし、日本代表選手に成長したかつてのライバル、居福選手と共に練習する機会も増え、競技に対する思いが再燃し、30歳にして念願の60m超えを果たしました。その後、54歳まで37回連続で関東選手権出場という快挙を成し遂げ、関東陸上競技協会から特別表彰をいただきました。

私はまた、50歳からマスターズ陸上での挑戦も続けており、M-50（50～54歳）という区分と、M-55（55～59歳）という区分で日本・アジア記録を樹立することができました。

来年60歳を迎え、あの室伏広治選手のお父さんである室伏重信選手の持つM-60の記録に挑戦します。そして、フランスのリヨンで行われる世界マスターズで表彰台に立つことを目標にしています。

私が、ここまで競技を続けてこられたのは、多くの方々との出会いと支えのおかげです。競技を続けるということは、決して楽しいことばかりではありませんが、それだけの価値があります。皆さんも長く競技を続けてみて欲しいと思います。

## プロフィール 林 英昭

土気中→成東高→順大→専修大学松戸高教員

関東選手権37回連続出場、千葉県選手権44年連続出場

マスターズ、ハンマー投アジア・日本記録保持者（M-50,55）

## ◇平成 26 年度後期日程

月	日	曜	競技会名	場所
2	8	日	千葉国際クロカン・県クロカン	昭和の森
2	22	日	B級審判取得講習会	県総合スポーツセンター
4	5	日	審判講習会	県総合スポーツセンター体育館



## 国際大会入賞者・国内大会優勝者



### アジア大会 (H26.9.19-10.4 韓国仁川)

男子 走高跳 戸邊直人 2m25 ⑤ 千葉陸協  
 男子 棒高跳 澤野大地 5m55 ③ 富士通  
 女子 5000m 尾西美咲 15.37.60 ⑦ 積水化学

### 全国高校総体 (H26.7.30-8.3 山梨)

男子 800m 前田恋弥 1.51.59 ① 市船橋  
 男子 1500m 前田恋弥 3.51.47 ① 市船橋  
 男子 4×400mR 成田高校 3.10.71 ①

### 日本選手権 (H26.6.6-8 福島)

男子 1500m 田中佳祐 3.43.77 ① 富士通  
 男子 棒高跳 澤野大地 5m61 ① 富士通  
 女子 800m 大森郁香 2.05.05 ① 日大  
 女子 5000m 尾西美咲 15.32.74 ① 積水化学

### 全日本中学校選手権 (H26.8.17-22 香川)

女子 走高跳 梅原遥奈 1m66 ① 佐倉南部  
 女子 走幅跳 杉村奏笑 5m92 ① 旭二

### 国民体育大会 (H26.10.18-22 長崎)

少年共 800m 前田恋弥 1.48.08 ① 市船橋  
 日本高校新  
 少年A 棒高跳 新井拓磨 5m22 ① 柏日体

### 日本学生選手権 (H26.9.5-7 埼玉熊谷)

男子 400mH 橋本孝興 50.72 ① 日大  
 女子 800m 大森郁香 2.08.22 ① 日大  
 女子 棒高跳 榎本優子 3m85 ① 筑波大

## お知らせ

### 【栄章贈与者の紹介】

#### 日本陸上競技連盟表彰

秩父宮章	津嶋 捷志	千葉陸上競技会監事
高校優秀指導者章	郡司昭喜男	敬愛学園高等学校教諭
中学優秀指導者章	藤鷹 昭宏	印西市立木刈中学校教諭
高校優秀選手章	保坂 拓海	船橋市立船橋高等学校
中学優秀選手章	谷藤 克樹	印西市立木刈中学校

#### 千葉県体育協会功労章

小松崎光一 (千葉陸上競技協会理事)

#### 千葉陸上競技協会功労章

稲田 久武 (元千葉陸上競技協会理事)  
 石川 和宏 (千葉陸上競技協会理事)  
 森井 優 (千葉陸上競技協会理事・施設用器具委員長)

#### 千葉陸上競技協会勲功章

谷藤 克樹 印西市立木刈中学校

#### 平成25年度 千葉県最高記録章

高瀬 慧	富士通	男子 200m	20.48
森岡紘一朗	富士通	男子 5000mW	19.56.99
鈴木 雄介	富士通	男子 10000mW	40.19.04
戸邊 直人	筑波大学	男子走高跳	2.28

北根万由佳	順天堂大学	女子 800m	2.07.14
新谷 仁美	ユニバーサルエンターテインメント	女子 10000m	30.56.70
成田高等学校		女子 4 × 400mR	3.46.03

#### 平成25年度 千葉県高校記録章

花沢 賢人	八千代松陰高等学校	男子 5000m	13.59.09
飯田 恭平	成田高等学校	男子 5000mW	20.49.06
戸辺 誠也	東京学館船橋高等学校	男子円盤投 (1.750kg)	43.71
成田高等学校		女子 4 × 400mR	3.46.03

#### 平成25年度 千葉県中学記録章

村上 純大	鎌ヶ谷市立第二中学校	男子 5000m	14.51.90
谷藤 克樹	印西市立木刈中学校	男子四種競技	2804 点
斎藤佑以加	大網白里市立増穂中学校	女子 800m	2.10.23

#### 関東陸上競技協会感謝状

岩城 忠隆 (千葉陸上競技協会審判委員)  
 平本 外二 (千葉陸上競技協会審判委員)  
 伊藤 信夫 (千葉陸上競技協会競技運営委員会委員)

#### 安藤百福記念章

舟橋 昭太 (千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部委員長)